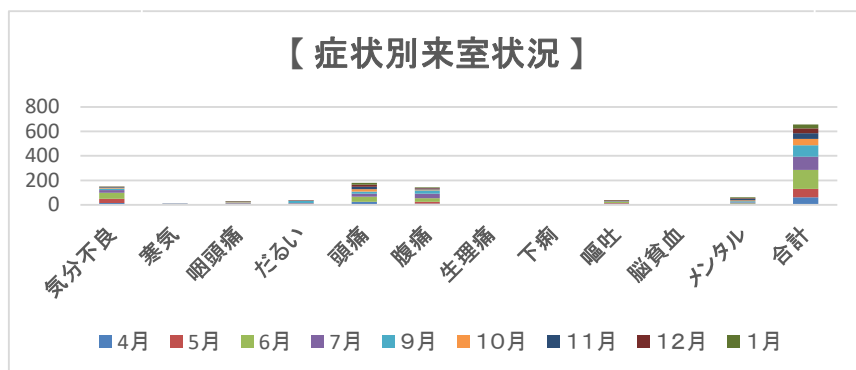


4.保健室の来室状況

【内科的主訴】



○1番多かった症状別来室状況は頭痛、2番目は気分不良、3番目は腹痛であった。

○今年の夏は暑く、熱中症の疑いで来室する児童もいた。

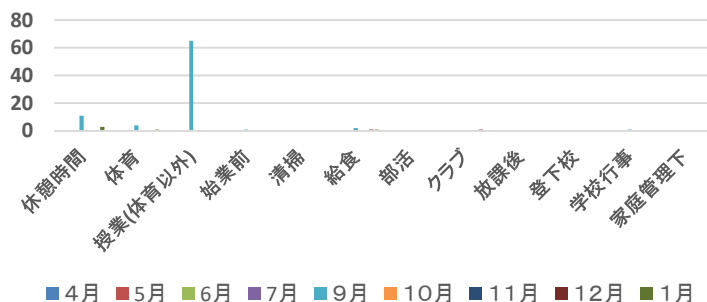
○校内では、熱中症予防と対策を踏まえて「暑さ指数」→WBGT(暑さ指数計)を使用し、定期的に測定を行った。

○暑さが厳しい時は、校内放送で校庭遊びの禁止を呼びかけたり、定期的な水分補給摂取を取り組むように声かけを行った。

○内科的要因以外に、精神的な悩みで来室する児童もいた。悩みの内容は、人間関係や勉強についていけない、家庭での悩みで来室する児童もいた。

○来室数が多かった月は、6月と7月であった。

【曜日別来室状況】



○1番多かった月は、9月。今年は暑さが厳しく、

熱中症の疑いや暑さが厳しく頭痛や倦怠感で来室する児童が多かった。

○来室する時間帯は、体育以外の授業時であった。

○保健室を利用する時は、児童一人ひとりに担任の先生の先生の許可をいただいてから、決まりを守り来室できる児童が多かった。

○内科的主訴で来室する曜日が、1番多いのが月曜日。

2番目に多いのが、木曜日だった。

○11月下旬から1月末日まで、校内でインフルエンザや新型コロナウイルス感染症が流行し始めた。

○体調が回復せず、早退する場合は、養護教諭が保護者が連絡し、養護教諭が事後措置を行っていた。

【内科 曜日別来室状況】

